

2 国保の財政状況

国保(市町村)の決算状況は、赤字基調で厳しいものとなっています。

- 平成12年度の国保(市町村)の決算は単年度経常収支でみると、法定外一般会計繰入金3,197億円を計上しているにもかかわらず、1,029億円の赤字となっています。これは、高齢化による医療給付費が増加したこと、景気の低迷等の要因によって保険税(料)収入の伸びが低く推移したことなどが原因です。

表2 国保(市町村一般被保険者分)の収支状況

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
収入	6兆486億円	6兆2,173億円	6兆2,940億円	6兆9,987億円	7兆3,426億円
支出	6兆1,640億円	6兆2,465億円	6兆3,976億円	6兆8,050億円	7兆1,506億円
(うち老健拠出金)	(1兆9,260億円)	(1兆9,959億円)	(2兆1,050億円)	(2兆3,686億円)	(2兆1,936億円)
収支差	△1,154億円	△292億円	△1,035億円	△1,205億円	△1,029億円
(再掲) 法定外一般会計繰入金	3,108億円	2,864億円	3,060億円	3,305億円	3,197億円

(注) 1.厚生労働省資料(平成8年度~12年度)による。
2.収入については、基金等繰入金、繰越金等を除いている。

- 国保保険者全体の約6割が赤字基調の保険者です。

表3 単年度経常収支黒字・赤字保険者の状況

	黒字保険者		赤字保険者		赤字保険者数の内訳			
	保険者数	金額	保険者数	金額	新規赤字保険者		継続赤字保険者	
					保険者数	金額	保険者数	金額
平成7年度	1,092	305	2,157	△1,374	642	△277	1,515	△1,097
平成8年度	1,132	505	2,117	△1,646	535	△174	1,582	△1,472
平成9年度	1,706	843	1,543	△1,135	395	△104	1,148	△1,032
平成10年度	1,432	521	1,817	△1,541	836	△371	981	△1,170
平成11年度	1,278	388	1,967	△1,578	730	△219	1,237	△1,359
平成12年度	1,520	488	1,722	△1,486	517	△218	1,205	△1,268

(注) 1.厚生労働省資料による。
2.収入については、基金等繰入金、繰越金等を除いている。
3.支出については、国庫支出金精算額を除いている。

一般会計からの繰入金は年々増加しています。

表4 一般会計繰入金の年次推移(市町村分)

(単位:億円)

年 度	法 定 分						法定外分	合 計
	保険基盤 安定繰入金	基準超過 費用	職員給与 費等	出産育児 一時金等	財政安定化 支援事業	小 計		
昭和63年度	1,000	-	-	-	-	1,000	2,569	3,569
平成元年度	1,000	-	-	-	-	1,000	2,775	3,775
2年度	988	-	-	-	-	988	2,978	3,966
3年度	1,040	-	-	-	-	1,040	2,945	3,984
4年度	1,077	32	1,130	302	640	3,180	2,268	5,448
5年度	1,110	25	1,085	317	825	3,362	2,352	5,714
6年度	1,183	22	1,145	363	969	3,681	2,585	6,266
7年度	1,282	17	1,201	403	1,140	4,043	2,916	6,960
8年度	1,602	14	1,230	409	1,212	4,467	3,108	7,575
9年度	1,777	20	1,295	405	1,270	4,766	2,864	7,631
10年度	1,948	36	1,381	418	1,124	4,907	3,060	7,967
11年度	2,152	33	1,447	421	1,197	5,250	3,305	8,555
12年度	2,482	32	1,589	441	1,291	5,835	3,197	9,032

(注)厚生労働省資料による。